

生野区★中学生NEWS

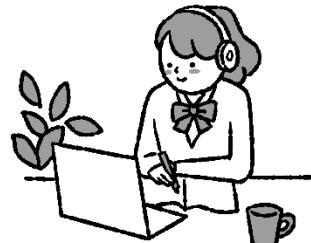


2022年になり、新しい気持ちで3学期をスタートしたことだと思いますが、新型コロナウィルスの感染拡大で休んでいる人も増えてきました。オミクロン株は感染力が強いので、引き続き「マスク・手洗い・密にならない」ように心がけてくださいね！ 生野区長 山口照美

IKUNO 未来教育ネットワーク～まちぐるみで育てる生野っ子～

生野区では、生野区で学ぶ小中学生の学びや体験の機会を充実させるために、生野区内外の企業や団体、高校や特別支援学校が参加する「IKUNO 未来教育ネットワーク」を立ち上げて、少しづつ参加企業や活動を広げています。生野区に本社があるロート製薬さんに商品開発について教えてもらったり、吉本興業さんに芸人によるコミュニケーションや SDGsの授業をしてもらったりと、さまざまなメニューを準備しています。今後も参加してくれる会社や団体を、増やしていく予定です。

今度、この「IKUNO 未来教育ネットワーク」の参加企業と生野中学校・桃谷中学校の2校で「リゲッタ（靴メーカー）の新商品を開発し、Creema（ハンドメイドマーケット）というプラットフォームで実際に販売する」という、新しいキャリア教育にチャレンジします。いくらネットが発達しても、ものづくりは必要です。その上で、ネットやアプリで販売する機会は格段に広がっています。



アプリを開発して運営する人の話や、ものづくりの工夫や売れる商品づくりについて、実際に働く人の話を聞いてチームで実際に商品開発に取り組みます。他の中学校でも、それぞれに学校と企業がつながって職業体験をしていますね。新巽中学校では e-Sports の大会を生徒が中心となって開くなど、いろんな機会が生まれています。「生野区の学校に通ってよかったなあ」と思ってもらえるように、全国でも最先端の学びとチャレンジがあるまちにしたいとがんばっていることを、みなさんも知っておいてください！



読書のススメ

『5分でわかる10年後の自分

2030年のハローワーク』

(図子 慧 KADOKAWA)

2019年に発売の本ですが、AIによって事務や法律関係の仕事が大きく変化する未来に、どんな仕事が残っているか、新たに生まれているかを主人公の中学生たちと共に考える本です。まだ実感のない未来かもしれませんのが、コロナ禍で会社に出なくとも仕事ができたり、一気にケータリングビジネスが広まつたりと、大きな変化が起き始めています。AI技術についても学べます！



ちょこっとNEWS

生野区の教育情報を Twitter で発信！

「Ikuno-教育-times」

生野区内の市立小中学校で実施されている教育活動や、「IKUNO 未来教育ネットワーク」に関する取り組みを Twitter で発信しています！ ぜひチェックしてみてください。↓ また、防災やコロナに関する最新情報は「生野区役所公式 Twitter」で発信しています。おうちの方にも知らせておいてくださいね！



10代のための相談窓口まとめサイト
ミクスで検索 <https://me-x.jp/>